

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/29～8/2

・ 7/29(月)

国会の動き、若者の日韓交流が相次ぎ中止、シベリア抑留遺骨などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会の動きについては他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。また、若者の日韓交流が相次ぎ中止については放送法の見地からも印象操作の点からも問題と考えられる場面が見られました。なお、国会の動きについては検証者の所感を記しました。

・ 7/30(火)

N 国が参院で会派結成、れいわ新選組の躍進、シベリア遺骨問題、日銀が金融緩和策の維持決定、ホルムズ海峡有志連合構想などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、れいわ新選組の躍進については放送法の見地から問題と考えられる場面が見られました。また、れいわ新選組の躍進については検証者の所感を記しました。

・ 7/31(水)

日韓関係、全国学力テスト、北朝鮮がミサイル、最低賃金が東京で 1000 円へ、東電が福島原発廃炉を決定、【異論反論】#最低賃金、FRB が利下げを決定などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、【異論反論】#最低賃金については検証者の所感を記しました。

・ 8/1(木)

令和初国会召集、日本政府が韓国をホワイト国から除外、米 10 年半ぶりの利下げ、北朝鮮が新型ロケット砲の写真公開、F35A が飛行再開などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、令和初国会召集、日本政府が韓国をホワイト国から除外、米 10 年半ぶりの利下げについては放送法の見地から問題と考えられる場面が見受けられました。

・ 8/2(金)

日韓貿易管理問題、米中貿易摩擦などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地から問題と考えられる場面は特に見られませんでした。なお、日韓貿易管理問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月29日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 ゲスト：村木祐輔（気象予報士）、高橋尚子</p>		
<p>検証テーマ：国会の動き、若者の日韓交流が相次ぎ中止、シベリア抑留遺骨</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きぐるみの男性が熱中症で死亡 ・ 今年一番の暑さで熱中症も急増 ・ 国会のうごき ・ 若者の日韓交流が相次ぎ中止 ・ 京アニ放火事件”聖地”で広がる追悼の輪 ・ シリアの瓦礫の中手を取り合う姉妹 ・ かんぽ不正問題でノルマ廃止 ・ シベリア抑留遺骨 ・ アメリカのイベントで銃乱射事件 ・ スポーツ報道 ・ 【異論反論】#営業ノルマ ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会のうごき：結論→他の放送日との比較などが必要 <p>山本キャスターの「国会では先の参院選でれいわ新選組から初当選した重い障害のある議員のために本会議場などバリアフリー化する工事が今、進んでいるところです、その一方で所属議員の拡大を図る NHK から国民を守る党にはあの議員が入党を決めました。」というコメントのあとに、以下に朱記した VTR が取り上げられています。</p> <p>ナレ「国会の一室にカメラを前に握手を交わすのは参院選で初当選した NHK から国民を守る党の立花代表と、日本維新の会を除名された丸山穂高衆院議員です。」</p> <p>"丸山穂高衆院議員（日本維新の会を除名）「NHK をぶっ壊すんだ、この一点において共闘している。」</p> <p>立花孝志（NHK から国民を守る党代表）「NHK の問題一点についてのみ合意をして一緒に戦っていくと、戦っていただいただけだと先ほどお返事を頂いてですね、モウモウ嬉しい。」"</p> <p>ナレ「NHK から国民を守る党への入党を発表した丸山議員、北方領土視察中の戦争発言や卑猥な言動が問題となり国会議員の資格はないなどとする糾弾決議が衆議院の全会一致で可決されています。その点について問われた立花代表は。」</p> <p>"立花代表「丸山議員の場合は犯罪をしたわけではないので、糾弾決議を出されてもきっちりやめずにね、このまま国会議員をされている丸山議員のそのお考え、精神力については高く評価をさせていただいている、ということ。」</p>		

ナレ「党が掲げる唯一の政策はNHKの受信料を一律に取り立てることへの反対。そのため所属する地方議員らはみんな受信料を支払っていないといいますが、丸山氏は。」

"記者「丸山さんにお伺いしたいのですが、今、あの受信料というのは払っていらっしゃるのか、今後払うのをやめるのか。」

丸山議員「ええっと、私が払っているか、ですか。」

記者「はい。」

丸山議員「基本的には私は払っています。」

記者「立花代表はそちらのその丸山さんの考えに対しては容認といたしますか。」

立花代表「困ったなあ、と思いましたがけれどもね。もちろん、やっぱり党の今所属議員全員が払ってませんということに安心していただいているんですけども、その言葉を使えなくなったのかな、位のことで。」

ナレ「なりふり構わず無所属議員の獲得に乗り出しているかにも見えるN国党。立花代表からはこんな大物議員の名前も飛び出しました。」

立花代表「一部報道で、渡辺先生と何らかの協力をするっていうのが今日流れた、その件については明日の11時に会見をする、と。」

ナレ「第一次安倍政権で行革担当大臣を務めその後みんなの党を立ち上げた渡辺喜美氏。にわかに注目されるワン・イシュー政党に大臣経験者の参加もあるのでしょうか。」

ナレ「一方、先週から急ピッチで進んでいるのが参院本会議場のバリアフリー工事、三日目に迫った臨時国会にれいわ新選組から初当選した重い障害を持つ二人の議員らが登院するのを前に大型の車椅子が入れるよう改修工事が進んでいます。」

VTRをうけてスタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り広げられた。

"小川彩佳「れいわとN国とそれぞれに大きな違いはありますがけれども、存在感はかなり増してきているという今のこの状況、そしてN国には丸山議員に加えて渡辺喜美さんも加わるということになると。」

星浩「まあ明日、結論を出すと言っていますけれども、その国会の中での会派を作るとかいう話は検討されているようですけれどもね、、ああ不祥事を起こした議員を集めると言ってもですね、私は限定的、限界があると思いますね。まあせいぜい数人というところでしょうし、まあ自民党あたりからは政党交付金狙いじゃないかというような声も出ていますよね。」

小川彩佳「ただ、まあ立花氏はこれからどんどん人を増やしていく、と。そしてスクランブル放送いわゆる、以外の政策についてはそれぞれ党員の多数決で決めるというふうにおっしゃっていますけれども。」

星浩「しかし、あの、やはり社会保障とか憲法とかね、基本政策を有権者に問うていない政党というのは私は大きな勢力になりえないと思うんですよね。つまりその選挙で審判を得ていないわけですから、そうすると選挙の意味がないということですし、民主主義が否定されるわけですよね。まあそういう意味で政治の本筋から外れたこのN国の存在というのは、あまり私は広がりを持たないと思っていますよね。」

このトピックに当てられた時間は320秒だった。スタジオでは社会保障や憲法という「基本政策」を直接に有権者に問うていないということを星キャスターが批判しおり、手厳しい論調だった。報道の政治的公平性を考える上では、他の政党、特に新勢力として取り上げているれいわ新選組への論調との比較は必要であろうと考える。

・若者の日韓交流が相次ぎ中止：結論→問題あり

スタジオで小川キャスターの「続きまして徴用工や輸出管理をめぐる冷え込んでいる日本と韓国の関係ですけれども、その溝が夏休み中の子どもたちにも影響を与え始めています。」というコメントに山本キャスターが「草の根レベルで続けてきた学生や子どもたちの交流イベントが相次いで中止されているんです。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「カメラに向かってピースサインを作る学生、夏休みに合わせ新潟市で行われている国際交流のイベントです、本来なら日本、韓国、中国、3つの国が参加するはずですが、」

中国語通訳「必ず頻繁にひっくり返してください、そうじゃないと焦げてしまいます。」

ナレ「来日したのは中国からの高校生だけ、韓国の高校生たち 10 人は直前になって来日をキャンセルしたのです。背景にあるのは韓国への輸出管理の強化を受け、深まる日韓の溝、来日の 2 日前になって、韓国側から新潟市にこう連絡がはいったといいます。」 "

新潟市への書簡「両国の関係が急激に硬直し韓国の世論が悪化している、やむを得ず参加できないことをお伝えします。」

"ナレ「今夜、新潟での最後の夜を迎えた日本と中国の学生たち、韓国の高校生との交流も楽しみにしていました。」

記者「韓国の学生が来られなかったが？」

参加した中国人の高校生「少し残念な気持ちがあります。三カ国の交流なので韓国の文化や知識をより多く学びたかった。」

参加した日本の高校生「元から韓国が好きだったから、韓国の言語に結構興味があって、少し勉強していたから、大人のね、事情っていうか政治のことでなんかここまで影響があるんだなって。」 "

"ナレ「日韓の間での深まる溝は各地の夏休みの交流事業を直撃しています。」

横山朋未（報告）「明日、こちらのグラウンドで、韓国と大垣市の小学生のサッカーチームが交流試合をする予定でしたが、延期になりました。」

ナレ「毎年続いてきた岐阜県大垣市と韓国昌原市とのサッカー交流、去年の写真からは当時の楽しさが伝わってきます。しかし。」

青木信行（大垣市体育連盟事業課長）「金曜日の朝、メールが届きました。残念ですけどもすみません、ということ。」

ナレ「韓国側の子どもたちからもこんな声が上がっているといいます。」

青木信行「昨年、訪問しているのでそこのご家庭の方と連絡を取り合ってる方が向こうの子供もすごく残念がっています。」

ナレ「ほかにも広島県の呉市への韓国人高校生の訪問が取りやめになるなど相次ぐ中止や延期、赤い点はすべて交流事業に影響が出た自治体です。多くの場合、韓国側によるキャンセルが理由となっています。」 "

"ナレ「韓国で何が起きているのか、日本とのスポーツ交流を取りやめた韓国の自治体から藩士を聞くことができました。」

ウイジョンブ市関係者「反日感情が高まっているため、今回の大会を取りやめることにした。日本訪問について国民感情を考慮しないで推進することは不適切だと判断した。」 "

"韓国デモ「安倍は謝罪しろ。」

ナレ「週末、韓国では日本政府を批判するろうそく集会が行われました。参加者が持つのは NO 安倍と書かれたプラカード。釜山市のデモでは総理の顔をペンキで塗りつぶし破りました。世論調査で不買運動に参加しているところ与えた人も当時の 48%から増え続け 62.8%に達しています。一方で日本との草の根の交流を続けようとする動きもあります。ソウル市に住む高校 3 年生の洪国永さん、日韓の交流団体が企画した広島での研修旅行に明後日から予定通り参加するつもりです。」 "

"洪国永「日常的に食べる食べ物とかそういうことに興味があります。」

ナレ「近くのコンビニで選んでいるのは広島での交流会で日本の学生と食べるお菓子です。日本の漫画や小説が好きで独学で日本語も学んだという洪さん。日韓関係が改善されることを願っています。」 "

"洪さん「僕は将来、日本で作家として活動したいと思っているので、ぜひ、日本と韓国が仲良くなってほしいと思っています。」

ナレ「洪さんの母親もそんな息子を応援しています。」

洪さんの母親「自分で決めたことなのでいろいろな経験をしてほしいです。日本の文化を学び韓国の文化も日本に伝える橋渡しの役割をしてほしい」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「自分が 10 代のときのことを思い出してもそのときに会った外国の方との交流というのは、その国のことを先入観なく見る一つのきっかけだったりいとぐちになっていたとも感じるんですね。そうした大切な民間交流の場がこうして失われているというのはあまりにも不幸だと思います。」

星浩「そうですね、日本の国会議員が超党派でつくる日韓議員連盟というのがありまして、その会長の額賀福志郎さんに対応を聞いてみたんですが、31 日に韓国の韓日議員連盟の代表案が来るそうです、そこでその色々対応策を話し合おうということで、とりあえず批判すべきは批判するんだけど、スポーツ交流とかね、文化交流にまで影響が出るのは良くないよね、という認識を確認したいということでした。まああの政治とか経済でいろんな問題が起きるのはしょうがないとは思いますがその問題が若者の交流に波及するのは防ぐというのはこれ、政治の大きな役割だと思いますね。」 "

また、番組のクロージングではこの問題について、以下に朱記したように取り上げられていた。

小川彩佳「さて、日韓がこじれて民間の事業に影響している、交流に影響している。先程も山本さんと話してましたけれども、こんなことなかったですね。」

山本恵里伽「これまでなかったなあという感じがしたんですけども。」

星浩「そうですね。今日あの、額賀福志郎さんと話したんですけども、20 年前はですね、その小渕恵三総理と金大中大統領がこれからはもう未来志向で行こうというのを合意したんですね、まあ額賀さんはそれをそばで見えていたんですけども、そういう意味では政治家が決断すればいろんな事ができるっていうある意味、お手本のようなんですけどもまあ政治家にもこれで奮起を促したいですね。」

小川彩佳「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は 478 秒だった。スタジオで山本キャスターが「草の根レベルで続けてきた学生や子どもたちの交流イベントが相次いで中止されているんです」とコメントしていたが、VTR で紹介されていた取りやめになったイベントの多くは地方公共団体やいかにもな第三セクターが行うイベントであった。中央政府や国政レベルとの対比では「草の根」なのかもしれないが、地方公共団体とて公権力の担い手であり、その事

業には地方税および国からの交付金が当てられている。そうした地方公共団体が主催したり支援したりするイベントを「草の根」などというのは正確性を欠いた表現であり、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らして問題であると言える。

・シベリア抑留遺骨：結論→特に問題なし

ナレーションによって「厚生労働省の派遣団がシベリアに抑留されてなくなった日本人のものとして5年前に持ち帰った遺骨が日本人のものではないと鑑定されたことがわかりました。専門家が去年8月に指摘していましたが、厚生労働省は公表しておらず、遺骨も変換していません。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は24秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・若者の日韓交流が相次ぎ中止：結論→印象操作のおそれあり

スタジオで山本キャスターが「草の根レベルで続けてきた学生や子どもたちの交流イベントが相次いで中止されているんです」とコメントしていたが、VTRで紹介されていた取りやめになったイベントの多くは地方公共団体やいかにもな第三セクターが行うイベントであった。また、VTRでは韓国のウィジョンブ市関係者の「反日感情が高まっているため、今回の大会を取りやめることにした。日本訪問について国民感情を考慮しないで推進することは不適切だと判断した。」というコメントも紹介されており、明らかに地方公共団体・行政が絡んでいるものであった。こうした実際には行政の一環として行われているあるいは行政から多大な支援を受けているものを、「草の根」といい、いかにも純然たる自由な民間人による交流であるかのように取り上げるのは、視聴者に対して誤った印象を与えるものであると言える。

検証者所感

・国会のうごき

星浩キャスターはスタジオでNHKから国民を守る党について「やはり社会保障とか憲法とかね、基本政策を有権者に問うていない政党というのは私は大きな勢力になりえないと思うんですね。つまりその選挙で審判を得ていないわけですから、そうすると選挙の意味がないということですし、民主主義が否定されるわけですね。まあそういう意味で政治の本筋から外れたこのN国の存在というのは、あまり私は広がりを持たないと思っていただいいていいと思いますよね。」と語っていた。確かに、NHKから国民を守る党は社会保障や憲法について選挙では語っていないが、だからといってN国が他の政党と比べて基本政策を語っていないとは言えないのではないだろうか。例えば、多くの既成政党は総花的に政策を語り過ぎていて結果その党の基本政策は何かが見えにくくなっているということはないだろうか。それに比べると、N国の主張はシンプルで「NHKにスクランブル放送を導入し、受信料を払ってでもNHKを見たい人だけがNHKを見れるようにし、逆に受信料を払ってまでNHKを見たいとは思わない人にはNHKを視聴できなくなる代わりに受信料を払わないという選択ができるようにする」ということである。こうした点からは「選択の自由」に親和的だという印象を受ける。実際、N国と接近した丸山議員にしても、渡辺議員にしてもいわゆる「第三極」と呼ばれた「選択の自由」を重視してい

NEWS23 週刊報告 詳細版

た人たちである。他の政策については語っていないものの、NHK 問題一点を明確に語り続ける N 国の姿から、他の政策についての基本的な考え方についてもイメージを膨らませた有権者は少なくないのではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月30日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
<p>検証テーマ：N国が参院で会派結成、れいわ新選組の躍進、シベリア遺骨問題 日銀が金融緩和策の維持決定、ホルムズ海峡有志連合構想</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放火の容疑者と同姓同名の人物から京アニに小説の応募があったとの事実が明らかに ・N国が参院で会派結成 ・れいわ新選組の躍進 ・シベリア遺骨問題 ・上海のゴミ分別 ・メルカリがJ1鹿島の経営権取得 ・東京オリンピックチケットの追加抽選 ・日銀が金融緩和策の維持決定 ・ホルムズ海峡有志連合構想 ・三冠馬ディーブインパクト死す ・銃乱射の男が人種差別的書き込み ・パキスタンの洪水被害の命がけのリポート ・スポーツ報道 ・【異論反論】ポーランドの若者の所得税ゼロ ・天気予報 ・れいわ新選組 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N国が参院で会派結成：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「続いては党勢拡大を狙う新しい政党N国を巡る動きです。NHKから国民を守る党立花代表は行政改革担当大臣などを務めた渡辺喜美議員と参議院で会派を結成するとしました。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「報道陣がひしめく国会内の部屋に飛び込んできた渡辺喜美氏。待ち構えていたのはN国党の立花代表、ガッチリと握手した二人は参議院で活動をともにする会派の結成を発表しました。」</p> <p>立花孝志（NHKから国民を守る党）「会派名はみんなの党、会派名はみんなの党でございます。」</p> <p>渡辺喜美（みんなの党代表、2009年当時）「みんなの党はあなたの党です。YourPartyです。」</p> <p>"ナレ「会派名にはかつて渡辺氏が代表を務めた政党の名前を冠し代表も渡辺氏となりました。」</p> <p>渡辺喜美（参院議員）「この会派結成を第一歩としてみんなの党を復活を遂げていきたい。」</p> <p>ナレ「しかし、N国が目指すのは受信料を払った人だけがNHKを視聴できるスクランブル放送の実現、みんなの党復活を掲げる渡辺氏と折り合えるのでしょうか。」</p>		

渡辺喜美氏「NHK 改革については正直深く考えたことはありません。」

ナレ「入党の要請も断ったという渡辺氏、話し合いは一筋縄では行かなかったようです。」

立花孝志「この話に至る途中で一度破断になりましたよね、雰囲気的には。うまくいかない感じでちょっと諦めるような感じになったのを先生の秘書の方がまあまあ人としてどうなのみたいになりましたよね。」

渡辺喜美「ちょっとよくわかりません。」

立花孝志「いや、要はね。」

ナレ「同床異夢間も言える状態でなぜ会派を組む必要があるのでしょうか。」

立花孝志「希望する委員会に入れる可能性が上がること、質問時間が増えること、その他にいろんなメリットが会派を組めばありますから。」 "

ナレ「そもそも会派とは国会で活動をともにする議員二人以上のグループ。結成すれば議員一人あたり年に 780 万円の事務費のほか幅広い委員会審議に関わることができます。」

"立花孝志「僕は選挙には強いというのは自負していますので、なんとかこう、政治に強い渡辺先生と選挙に強い僕がコラボをすることによってうまく NHK のスクランブル放送を実現できないかな、と。」

ナレ「立花氏は無所属議員への入党を引き続き呼びかけ、議席を増やし、憲法改正を切り札に自民党に NHK 改革を迫る考えを示しています。一方 N 国の立花代表が NHK の受信料を拒否していることについてはこんな声も上がりました。」 "

松井一郎（大阪市長）「議員会館で受信料払わんと言うとるから、それまかり通るにやったら大阪市もやめさせてもらうし、一般の人は馬鹿らしくて受信料払われへん。」

このトピックに当てられた時間は 224 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・れいわ新選組の躍進：結論→問題あり

小川キャスターの「そしてもう 1 つ今回の参議院選挙で政党要件満たしたのが山本太郎氏率いるれいわ新選組です、結党からわずか 3 ヶ月で 2 議席を獲得しましたが既成政党を慌てさせたれいわ旋風の背景を探りました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"山本太郎「世界初 ALS の国会議員、船後靖彦さんです。」

ナレ「重い障害がある二人の国会議員の誕生でも注目されるれいわ新選組。率いるのは山本太郎氏です。」 "

"山本太郎「国が衰退し続けている国なんて日本しかないってことなんですよ。この責任は誰ですか。」

ナレ「4月に結党し、わずか3ヶ月で議席を確保、山本氏は落選したものの比例で最多となる99万票以上を得ました。れいわ旋風はなぜ吹いたのか、選挙戦中盤、既に異変は起きていました。」 "

"小川彩佳（報告）「ひしめき合うようにして多くの方が集まっています、こうしてできた歩道もかなり狭くなっております、前に進むのも困難なんですけれども。」

ナレ「組織による動員もないなか街頭演説には多くの方が集まっていたのです。」

小川彩佳（報告）「手応えだけお聞かせいただければ。」

山本太郎「ありがとうございます。手応えはあります、すごく熱を感じます、それは全国どこへ行っても。」

小川彩佳（報告）「当然、次の衆院選を見据えての動きでもある、と。」

山本太郎「10人では世の中変えられませんからね、まあ政権を狙いたいという思いから旗を上げているんです

けれど。」

ナレ「政権を狙うと明言した山本氏。訴えた政策は。」

山本太郎「山本太郎、政権をとったら必ずやりたいこと、それは、消費税廃止。」

ナレ「消費税廃止に最低賃金1500円を政府が保証。敷金礼金なしで低家賃の公的住宅の提供、などです。」

山本太郎「金持ちをもっと金持ちに、大企業をもっと儲けさせるために、どうしてみんなが消費税を払うんですか。今日のパンを買うために、今日のおにぎりを買うために、どうしてそれで払わなければいけないんですか。非正規、今や四割、そんな状態でどうやって人生歩いていきゃいいんだよ、今日やっと生き残った、今月やっと乗り切った、そんなことの連続で自分が生きている意味なんて見つけれられるかよ、って話じゃないですか、皆さん。」

ナレ「感情に訴えかける山本氏の演説に集まった人たちからは大きな歓声が上がりました。」

"ナレ「政治学を専門とする中島教授はこう指摘します。」

中島岳志（東京工業大学政治学専門、教授）「自分の苦しみっていうのがどういうふうに伝えたらいいのか、どういうふうにその国っていうのに反映されるのかよくわからなかった。そういうような層のところに山本さんが非常にダイレクトに言葉を届けた。」

山本太郎「大逆襲ですよ、いつまで大企業の言いなり、いつまでアメリカの言いなり、この国に生きる人は政府のATMじゃない。ひとりひとりが人生抱えている。」

中島岳志「彼がこの六年、いろんな形で色んな人達と会い、いろんな言葉を聞いて、そしてその苦しみっていうのを知り、それがあつた種、血肉化してきた。そこから出てきている言葉なんだと思うんですね。だからあの、多くの人に本当に届くんだと思います。」

ナレ「これはJNNが行った出口調査の結果。立憲民主党は50代以上の層から支持を集めました、一方、れいわは20代から40代の支持を集めたことがわかります。」

中島岳志「これまで、その立憲民主党を中心としたリベラルな野党が取れていたそうと違う層のところにさらに浸透しているというのが非常に新しい現象として重要なことだと思います。」

"山本太郎「みんな今見た？」

ナレ「公職選挙法が定める政党要件を満たしていなかったため。テレビなどへの露出が限られていたれいわ。そこで選挙運動の中心となったのがツイッターやFacebookなどのSNSです。」

山本太郎「よろしくおねがいします。れいわ新選組のホームページにツイッターをご利用の方はぜひこのバナーをアクセスしていただきたい、トレンド、金をかけなくてもトレンドの一位に上げることができる。宣伝できます。新しいスタート切りましょうよ。みんなのためのせいやらせましょうよ。あなたのための政治の始まりですよ、これが。力、貸してほしいんですよ。」

"ナレ「選挙中のれいわに関連するツイッターのつぶやきは30万件を超え、最も多くツイートされた自民党に告ぐ数に上りました。集まった寄付金はおよそ4億円、山本氏は有権者から支持された理由について。」

山本太郎（21日）「政治が既にもう自分たちのものではないということはもうみなさん分かっていると思います。でも、でも、そこに対して何かしらの風穴を開ける存在というのが必要だったのであろう。」

"ナレ「いっぽう、ほかの野党はれいわを無視できない存在と捉えています。」

枝野幸男（立憲民主党代表）「安倍政権に批判的な皆さんの声をしっかりと受け止める勢力が広がることになっ

たというふうに歓迎をして受け止めています、できれば、様々なところで連携をしていくことができればありがたいなというふうに期待をしております。」

玉木雄一郎（国民民主党代表）「早いうちにあの、一度お話しをさせていただきたいなと思ってます、まあ元々山本太郎議員、元議員はですね、同じ会派のメンバーでしたから、仮に消費税を廃止するのであれば代わりになる財源を一体どういうことを考えているのか。」

志位和夫（日本共産党委員長）「国会でもですね、あの、令和の皆さんとの関係で私達として協力できることは何でも協力していきたいな、と。」

ナレ「政界再編につながる台風の目になるのか、一過性の風雨に終わるのか。」

中島岳志「山本さんの勢い、ですね、だけで政治を動かせるかって言うと、政治ってやっぱりそれほど甘くはなく、旧民主党の人たち、確かに民主党政権っていうのはいろんな問題があったと思うんですけども、そこで得られた経験値とか長い野党生活の中で得られた治験というのはこれもまた非常に大きな財産であり重要なポイントなんですね、ですから、ここがどういうふうにタグを組めるのか、その協調関係をどういうふうにつけていけるのか、っていうのが今後の大きな課題なんだと思います。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「選挙戦の現場を目の当たりにした身としては当時は政党要件を満たしていなかったとは言え、あれだけのムーブメント、これはニュースでしたから何らかの形でお伝えすることができなかったか、と今でも思うんですけども印象的だったのは SNS の情報を頼りに演説会場に集まって山本さんが到着する前から待つ方だったりですとか、雨の中でも足を止めた方たちがじっと静かに耳を傾けていた、そうした姿だったんですね、消費税廃止や最低賃金が注目されましたけれども、山本さんの演説はその単にスローガンを連呼するのではなく、有権者の皆さんが日々感じている生きづらさだったりですとか生活の苦しさ、そうしたことをピンポイントにリアルに描写する語り口、それもとても印象的でしたね。」

星浩「このれいわブームをですね、考えて見るときに政党の立ち位置というのを見ると面白いと思うんですね、その横軸を保守とリベラル、縦軸を財政の規律と財政出動とおくと、自民党。自民党の方はかなりこう融通無碍です。野党側はですね、立憲はどちらかと言うと財政規律をある程度重視する人がいるということですし、国民民主は（立憲民主党と比べると）中道より（リベラル）ということなんです。今回れいわはですね、ここ（リベラルかつ財政出動）を狙ってきたんですね。」

"小川彩佳「空いているところですね。」

星浩「ここは空いているスペースでして、ここはリベラルで財政出動を目指そうということで、これによって格差の解消につなげようということなんです。自民党に対抗するにはこの野党勢力がどうやって大同団結するかっていうのが大事だっていうことをこの表を見ると一目瞭然だと思いますね。」

小川彩佳「そうですね、そしてどこの政党も受け皿になり得なかった有権者の支持を集めた、実際集会に集まっている方たちはお一人でやってきた方だったりですとか働き盛りの方が休日にこうやってきたと、そうした方が集まっているという印象ですね。」

星浩「そうですね、まああの出口調査では 20 代 30 代 40 代の方が多かったというのですが、おそらく社会保障を中心に将来不安が募っている人です。ただ今度政党要件をとりましたので、テレビの討論などにも出てき

て議論をするわけで、そうするとその政策の具体性とか整合性について自民党とか公明党はかなり激しく追求してきますから、それにどう対抗していくか、というのはこのれいわにとっては非常に重い課題になってくると思いますね。」

小川彩佳「ここから、また真価が問われてくるというわけですね。」

また、番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「今日は星さん、れいわ新選組についてお伝えしましたがけれども、これからどんな絵を描いているのかという、のがね、気になりますよね。」

星浩「今までもね、新自由クラブとか、日本新党とか、渡辺喜美さんのみんなの党とかいろいろ新党がありましたけれども、だいたいその消えてなくなるケースが多かったの、これから例えばその格差の解消ならどういう政策で格差の解消をやっていくか、肉付けをしてほしいと思いますよね。」

このトピックに当てられた時間は 625 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

スタジオで星キャスターが自民党は保守で財政については規律派から出動派までいる、であるとか立憲民主党は財政規律を重視する人が多い、とマッピングを用いながらコメントしていた。確かに山本太郎氏の財政論はより放漫財政なのかもしれない。現状の慢性的な赤字財政に対して、財政規律を重視するのであれば歳出削減と増税という組み合わせになるはずだが、そのような主張をしている人はおらず、せいぜい増税と歳出の拡大である。その意味では既成政党が財政規律派とは言えず、せいぜいが山本太郎氏よりもマイルドな放漫財政派としか言えないのだが、それを「財政規律派」と評するのは評価軸そのものが放漫財政に偏ったものであると言える。こうした偏った評価をスタジオで述べるのは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点でも問題であるし、印象操作の疑いがあるともいえる。

・シベリア遺骨問題：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてはシベリアに抑留されなくなった日本人のものとして持ち帰った遺骨が日本人のものではないと鑑定された問題です。」とのコメントに山本キャスターが「菅官房長官は遺骨の取り扱いについてロシア側と協議していく考えを示しました。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「終戦直後、シベリアに抑留されなくなった日本人のものとして 5 年前、厚生労働省の派遣団が持ち帰った 16 人の遺骨、その全てが日本人ではない、または日本人ではない可能性が高い、と指摘されていました。厚生労働省がその報告を受けたのは去年 8 月、しかし、昨日まで公表されず返還もされていなかったのです。これについて今日、菅官房長官は。」

菅義偉官房長官「ご遺骨の出身地を特定するために必要な相手国との競技を速やかに進める。」

ナレ「ロシア側との協議を速やかに進めたいという考えを示しました。相互の不可侵を謳った日ソ中立条約を一方的に破棄し終戦間近の 1945 年 8 月 9 日、旧満州へ進行を開始した旧ソビエト連邦、終戦後、旧満州や樺太、千島などからおよそ 57 万 5000 人の軍人などシベリアへ強制的に抑留しました、極寒の中強制労働に従事させられた日本人抑留者、およそ 5 万 5000 人が死亡。このうち厚生労働省の派遣団などが 21900 人分の遺骨を持ち帰りました。厚生労働省によりますと、今回取り違えた可能性がある 16 人の遺骨は 2014 年 8 月、シベリア東武、ザバイカル地方で収集されました。ロシア側から提供された資料を参考に現地の専門家と遺骨の収集にあたったというこ

とです、厚労省が遺骨の取り違えを報告していなかったケースはこれだけではありません。太平洋戦争の激戦地、フィリピンから旧日本兵のものとして収集された遺骨について、厚労省は2012年に日本人と見られるものは含まれていなかったとする報告を受けていましたが、去年まで一度も公表していませんでした、今回、なぜ公表は遅れたのでしょうか。」

菅官房長官「相手国と協議した上で、公表する、まあそういうことだったそうです。」

ナレ「厚労省は遺骨の取り違えが発覚した経緯などの議事録について遺族のプライバシーを考慮し、公表しないとしています。」

このトピックに当てられた時間は190秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日銀が金融緩和策の維持決定：結論→特に問題なし

日本銀行は金融政策決定会合で短期金利を-0.1%に長期金利を0%程度に誘導することを柱とする現在の大規模な金融緩和策の維持を決めたとのこと、黒田総裁は必要があれば躊躇なく追加の金融緩和策を取ると強調したことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は32秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ホルムズ海峡有志連合構想：結論→特に問題なし

アメリカのポンペオ国務長官はホルムズ海峡の安全確保に向けた有志連合構想について「我々が望むよりはもっと時間がかかるだろう」と述べ各国との調整が難航していることを伺わせたこと、アメリカ政府は60カ国以上に呼びかけて2度に渡り説明会を開催したが、イランとの敵対色が強まることを懸念する国もあり実現の目処は立っていないとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は22秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・れいわ新選組の躍進

VTRでは中島岳志氏が、スタジオで星キャスターが「保守」、「リベラル」というラベルで政党を語っていたが、読売新聞・早稲田大学共同世論調査(2017年)によれば、「70代以上では、もっとも保守的なのが自民党であり、共産党がリベラルに位置づけられている。これに対し18~29歳では、もっとも保守的なのが公明党で、次いで共産党、もっともリベラルなのが日本維新の会である。」という結果が出ている。このように保守—リベラルの評価には世代間で明確な違いがありもはや保守—リベラルという区分はかつてほどの有用性を持たなくなっており、今では注釈がなければその意味するところが伝わらない言葉となっているとも言える。そうした言葉を何の注釈もなしに「～は保守」、「～はリベラル」と言ってしまうあたりに、視聴者に対する不親切さを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月31日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
<p>検証テーマ：日韓関係、全国学力テスト、北朝鮮がミサイル、最低賃金が東京で1000円へ 東電が福島原発廃炉を決定、【異論反論】#最低賃金、FRBが利下げを決定</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんぽ不正販売 18万件超に ・日韓関係 ・全国学力テスト ・吉本興業の誓約書 ・北朝鮮がミサイル ・ダンプカーと乗用車が衝突し幼児二人が死亡 ・最低賃金が東京で1000円へ ・東電が福島原発廃炉を決定 ・義母（92）を暴行死させた疑いで女（66）逮捕 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#最低賃金 ・天気予報 ・FRBが利下げを決める 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓関係： <p>小川キャスターの「日韓関係の対立以前続いていますが、この状況を打開するため、今日、韓国の国会議員10人が来日しました、民間の交流事業が中止もなったりですとか、この関係悪化の影響も広がっていますが、若者に目を向けてみますと、ちょっと違った風景が広がっているのです。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「夏休み真っ只中、この暑さにも関わらず、東京新大久保は多くの若者で賑わっていました、日本屈指のコリアンタウンで人だかりができていたのは今人気のB旧グルメ、」</p> <p>女性客A「おいしいです。」</p> <p>ナレ「KPOPアイドルのグッズショップや韓国コスメ店には多くの女性達が詰めかけていました。」</p> <p>北海道から来た高校生「KPOPのファンで、」</p> <p>インタビュアー「ちなみにアーティスト、誰が好きなんですか。」</p> <p>北海道から来た高校生「2PM」</p> <p>大学生「すごい今、韓国料理はやっているんで、それで来ちゃいました。」</p> <p>ナレ「韓流ドラマに始まった韓国ブームですが今や人気は俳優やアイドルのみならずグルメや化粧品、音楽など幅広いジャンルに及んでいます。」"</p> 		

"ナレ「一方で政治レベルでは対立が続く日韓関係、日本の若者たちはどう思っているのでしょうか。」

大学生「なんか、政治的に悪化してても、だからといってそういう文化も嫌いになるわけじゃないし。」

専門学生「あまり気にしてないよね、なんか、アイドル追ってるだけだから。」 "

ナレ「関係悪化もどこ吹く風、韓国に親しみを感じると応えた人の割合は 60 歳以上では 30%前後にとどまっているのに対し、18 歳から 29 歳では 57.4%と半数以上の若者が韓国に親しみを感じているのです。」

アリランホットドッグ店員「売り上げは変わらない、新大久保では影響はないですけど、今後は関係が良くなればと思います。」

ナレ「しかし、政治の世界ではなおも模索が続いています、悪化する日韓関係を改善する道を探ろうと、今日、韓国の国会議員 10 人が来日しました。都内のホテルで日韓議員連盟の額賀会長が韓国議員団のソチョンウォン団長を出迎えました。和やかな雰囲気ではありましたが、輸出管理上の優遇措置が得られるホワイト国から韓国を除外する問題を巡って、激しい議論がかわされました。」

ソチョンウォン団長「輸出規制や（韓国の）ホワイト国除外が発効されないよう、最大限の努力をしてくださることを切にお願いした。」

額賀福志郎（日韓議員連盟会長）「これは政府がやることだから直接には触れておりません。」

ナレ「結局、当初目指していた両国の議員による共同声明は見送られました。」

"記者「これホワイト国から韓国を除外する方針についてですが。」

菅義偉官房長官「その方針に変わりはなく、手続きを粛々と進めていきます。」 "

"韓国市民「輸出規制を直ちに撤回しろ！撤回しろ！撤回しろ！」

ナレ「一方、韓国 52 の自治体でつくる地方政府連合は日本製品の不買運動と日本への旅行のボイコットに積極的に参加すると宣言。日本と韓国を結ぶ直行便も相次いで運行停止が決まっています、昨日、新たに大韓航空が 9 月 3 日から釜山札幌路線の運休を決定しました。日韓交流事業にも次々と影響が出ています、沖縄県内で来月開催予定だった日韓小学生ハンドボール大会の中止が決まり松江市でも中学生を交互に派遣する事業を今年は取りやめることになりました。」 "

"ナレ「日韓交流の中止が相次ぐ一方でこんな動きも、ここは韓国ソウル市内にある音楽スクール、KPOP の曲に合わせてダンスを踊る少女たち、12 歳から 17 歳のあわせて 15 人がレッスンを受けています、彼女たち、実は。」

15 歳「KPOP アイドルを見てこのようになれたらいいなって思いました。」

インタビュアー「どこで活動したいと思いますか。」

15 歳「ええ、韓国もちろん出し日本も、世界で活動できたらいいなと思います。」

ナレ「彼女たちは KPOP アイドルになることを夢見て日本からやってきました。ソウルにあるこちらの音楽教室では一週間ほどの短期コースも含め年間でおよそ 250 人の日本人が入学しています。彼女たちが目指しているのが、ナレ 2015 年にデビューしてらい、またたく間に人気となりアジアを代表するガールズグループ t になった TWICE です、九人のメンバーのうち、三人が日本人です。また、女子中高生を中心にブレイクしたアイズワンもメンバー 12 人中、三人が日本人、KPOP の世界で日本人がデビューするというこれまでにない減少が起きているのです、日本での KPOP の売上額は去年 274 億円に登りました、これは集計を始めてから史上最高額です。KPOP がブームとなる一方で深まる日本と韓国の溝。」

ダンス講師「政府間の問題は大人たちの問題、その影響で若い世代の夢が振り回されるのは良くないと思う。若い世代が他の国の文化を知ろうとすることはとても大事だ。」

17歳「正直私達の若い世代は日本人は皆韓国に興味があったりする人が多いし、初めて韓国に来たんですけどもあまり嫌な思いとかもしたことがないので、これから変わっていけばいいなと思います。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「若い方の間では違った空気が広がっている、ただやはり改善の糸口が見えない、この日本と韓国の問題ですけどもついにこの方が動き出したのです。」

山本恵里伽「その、この方というのが、こちら、アメリカのポンペオ国務長官です、日米間三カ国の外相会談を行い日本と韓国の仲介を図る考えを明らかにしました。」

上記のやり取りを受けて更に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ポンペオ国務長官「(韓国の) 康外相、河野外相とそれぞれ会談し、(日米韓) 三人でも会談する。」

ナレ「ポンペオ氏は30日、バンコクに向かう機内で記者団に対しこのように述べ、現地で日米韓外相会談を行うことを明らかにしました。日韓両国に対し、前に進む道を見つけるよう勧めるとして両国とも重要な同盟国だと強調しました。ロイター通信は日韓双方が当面新たな措置は取らないとの協定に署名した上で輸出管理の許可や徴用工問題について話し合うようアメリカが促したと伝えていて、ポンペオ氏がこうした提案を示す可能性があります。」

ポンペオ国務長官の動向の報道を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「となると、日本政府としては何らかの軌道修正ということになるのかどうか、焦点となるのは輸出管理で優遇されるホワイト国から韓国を除外するという方針ですけども明後日には閣議決定という予定があったここの判断に影響を与えることはあるのでしょうか。」

星浩「これは政令事項なので閣議で決める必要があるんですけども、どうも政府高官によるとアメリカ側はですね、このホワイト国から外すのを含めて現状を変更するのをちょっとしばらく待ったらどうだという提案をしてくる可能性があるっていうんですね、で同じ2日には日米韓の外相会談がありますので、その外相会談の動向を見るのか、それとも予定通りホワイト国を外すか閣議決定をするのか、これはもう安倍総理の最終判断になるということだと思いますね。」

小川彩佳「そしてVTRにもありましたように、若い方の間では音楽やファッション等を通じて非常にこう友好的な、かつてないほどの関係が繋がっている、政治はそうした動きを後押ししてほしいと思いましたけれどもね。」

星浩「そうですね、今日ようやくね、国会議員同士の交流が動き出しまして、これから外務大臣同士の会談もありまして、批判の応酬だけではなくて出口を探り、探ってもらいたいと思うんですけども、しかしまあこういうときに日本と韓国の問題をアメリカの仲介頼みというもの、これは日本も韓国もちょっと情けない限り、という気がしますね。」

小川彩佳「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は628秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・全国学力テスト：結論→特に問題なし

小川キャスターの「では、続いてのニュースに参ります、全国の小学六年生と中学3年生あわせて200万人余

りが参加した全国学力テスト、その結果が公表されました。」というコメントに対し山本キャスターが「最下位を脱することができなかったある自治体の長は約束を守れなかった、としてボーナスを返上することを表明しています。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"教師「これから学力テストを始めますが、一時間目は国語です。」

ナレ「今年 4 月に行われた全国学力テスト、全国のすべての小学六年生と中学 3 年生を対象にしたもんだ S、ここで小学六年製の算数から一問、左の 2 つの同じ台形から作ることができるところを右の 4 つの中から全て選んでください、正解はご覧の 3 つ、正答率は 60.5%でした、小学六年生の算数では石川、秋田、東京、国語では秋田、石川、福井が上位となりました。中学 3 年生は国語、数学に加え、今年からはじめて英語も実施されました。平均正答率は東京、神奈川、福井が道立で最も高い結果となりました。」 "

"ナレ「一方、去年まで全国の政令市で 2 年連続再開だった大阪市、。」

吉村洋文（大阪市長、当時）「自分の取り手のボーナスについて、もし再開を脱出できなかったらどっかに寄付したいな、」

ナレ「当時、大阪市長だった大阪府の吉村知事は三年連続で最下位となれば夏のボーナスを全額返上すると宣言していました。今年の結果はほとんどの科目で成績が向上し、小学校の国語以外では最下位ではありませんでした、しかし小学校は国語と算数の結果を足すと名古屋市と同率で最下位になる結果に。今日、吉村知事は。」

吉村知事「これはもう僕自身が言ったことは守りますので、自分の今年の夏のボーナスについては返上したい、今回本当によくみんな頑張ってくれたなと思います。実際成績も上がっていますし最下位脱出できたということは非常に大きなことだと思います。」 "

"ナレ「2007 年度から始まった全国学力テストですが、問題点を指摘する専門家もいます。」

内田良（名古屋大学大学院准教授）「今、全国の学力テストで順位を競うということになっていますので、過去問を何回も繰り返したり、あるいはテスト対策のために宿題を臆して、本当に点数を上げるために先生や生徒が疲弊しているというよう状況は全国各地で起きています。」 "

"ナレ「ボーナスの返上を決めた吉村知事、このやり方に松井大阪市長も疑問を呈しマシたら。」

松井一郎大阪市長「彼だけではなくて、これは大阪市内の小学生にプレッシャーとなりますから、そういうプレッシャーを与えるのはやめてね、と思います。」 "

ナレ「教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるため、として始まった全国学力テスト。しかし、かえって学校現場の負担になっていないのか、改めて考えて見る必要がありそうです。」

このトピックに当てられた時間は 241 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・北朝鮮がミサイル：結論→特に問題なし

山本キャスターの「北朝鮮がまたミサイルを発射しました、相次ぐ挑発行為に対し韓国側は強く反発しています。」とのコメントの後に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

安倍総理「我が国の安全保障に影響を与える事態ではないことは確認されています、引き続き米国などと緊密に連携をしていきます。」

ナレ「今日の、明け方、北朝鮮があわせて 2 発の短距離弾道ミサイルを発射しました。北朝鮮は 6 日前にも短距離弾道ミサイルを発射。相次ぐ挑発行為に対し、韓国側は敵という言葉を使い、強く反発しました。」

鄭景斗（韓国国防相）「我々を威嚇し挑発するならば、北朝鮮の政権と軍は当然、敵という概念に含まれる。」
ナレ「一方、アメリカは 25 日の発射の際に短距離ミサイルならば問題視しない考えを表明。北朝鮮は来月 5 日から始まる米韓合同軍事演習を牽制する形で、今後も発射を続けるおそれがあります」

このトピックに当てられた時間は 68 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・最低賃金が東京で 1000 円へ：結論→特に問題なし

厚生労働省の審議会は今年度の最低賃金の改定について全国平均の時給を 27 円引き上げ 901 円とする目安をまとめたとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 48 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・東電が福島原発の廃炉を決定：結論→特に問題なし

東京電力は東日本大震災のあと運転を停止している福島第二原発四基すべての廃炉を正式に決定し、発事故をおこした福島第一原発 6 基あわせ、福島県内の原発 10 基全てが廃炉となるとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・【異論反論】#最低賃金：結論→特に問題なし

山本キャスターの「今年度の改定後の最低賃金の目安がまとまりました。東京都などは初めて時給 1000 円を超えましたが一番低い県との格差も拡大、増税も迫りますが、あなたの意見は、異論反論。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ファミレルでアルバイト「自分は嬉しいですね 1000 円以下で働いていたので、上がるならそれは越したことはないかなと思います。」

埼玉県でアルバイト「時給は 950 円、自分の給料も上がって細かいですけども、上がらないですかね。」

会社員「高くなりすぎてね、その雇う側の方が苦しんじゃうとね、働く場所も少なくなっちゃうのでね。」

アパレル関係「高校生もですか？羨ましい、高校生の時は 910 円とかだったから。」

レストランでパート「この値段だともうちょっと上げてもらわないと、消費税の兼ね合いもあって厳しいですかね。」

家庭教師・派遣アルバイト「田舎との格差やばいだろってそんな話もあると思いますね、200 円以上違いますもんね。」

東京都でアルバイト（母親が鹿児島でパート）「お母さんより時給高いときあった。やっぱり東京だと使うお金が大きいじゃないですか、だから結局変わらないのかなと思いますね。」

会社員「全国一緒じゃないと、おかしいんじゃないかなって思っちゃいますね。人間は人間だから。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」 "

このトピックに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・FRB が利下げを決定：結論→特に問題なし

番組のクロージングで FRB の利下げについて以下に朱記したやり取りが繰り返された。

NEWS23 週刊報告 詳細版

小川彩佳「さて、まもなくアメリカの FRB が利下げを決める。」

星浩「そうですね、あと数時間後には決めるんですけど 0.25 になるのか 0.5 になるのか、アメリカ、いま景気が良いんですけども、中国との貿易摩擦に備えて利下げをすうるという異例中の異例なんですけれども、おそらく世界の市場にはですね、大変なインパクトを明日与えると思いますね。」

小川彩佳「日本経済にも影響を与えることになるのでしょうか、また明日お伝えすることになります。」 "

このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

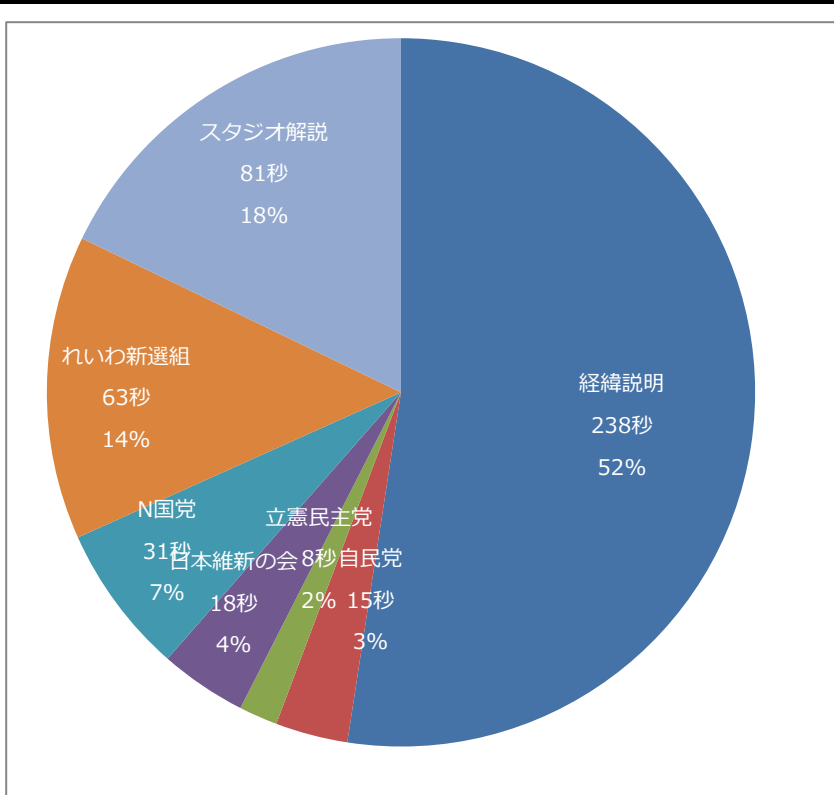
検証者所感

・【異論反論】#最低賃金

街の声という形ではあったが、VTR に映し出された町並みはどう見ても高田馬場駅近辺だった。石を投げれば早大生に当たるような、あの街で「街の声」を拾っても、それはかなり母集団自体に偏りがあるのではないだろうか。街の声を紹介すると言っても、どこで声を拾ったのかの場所くらいは明示してもいいのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2019 年 8 月 1 日
出演者：【キャスター】 小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
<p>検証テーマ：令和初国会召集、日本政府が韓国をホワイト国から除外、米 10 年半ぶりの利下げ 北朝鮮が新型ロケット砲の写真公開、F35A が飛行再開</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地で猛暑続く ・令和初国会召集 ・日本政府が韓国をホワイト国から除外 ・米 10 年半ぶりの利下げ ・一時保護の実態 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> ・「7Pay」9 月末で廃止 ・北朝鮮が新型ロケット砲の写真公開 ・京アニ放火事件 ・F35A が飛行再開 ・詐欺事件の主犯格が逮捕 ・ネプチューン名倉氏が休養 ・スポーツ報道 ・# 異論反論 objection 「お盆の 9 連休は長い？」 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和初国会召集→結論：放送法第四条の見地から問題あり。 <p>今回は参院選挙が終わり、令和に元号が移ってから初の国会召集について参院選の結果を踏まえつつ報道がされた。今トピックに充てられた報道時間は 454 秒で、経緯説明・自民党・立憲民主党・日本維新の会・N 国党・れいわ新選組・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「参議院選挙で当選した議員たちが顔をそろえました。令和になって初めて召集された国会ですけれども新人たちはそれぞれの決意を胸に論戦を交わすということになります。」

ナレーター「今朝、5時半の国会前。一番乗りした新人議員は、『おはようございます。一番乗りですか。もしかして。』日本維新の会に所属する柳ヶ瀬議員です。その3分後、同じ維新に所属する音喜多議員も姿を見せました。眩しい朝日を浴びながら開門を待つ二人。中学から大学まで先輩、後輩の間柄なのです。」

柳ヶ瀬議員「よし、これで日焼け止め塗ったので大丈夫。」

ナレーター「先月の参議院選挙を受けて今日開会した臨時国会。令和になって最初の国会召集となり、当選した議員たちが次々と登院しました。」

河井案里参議（自民党）「女性も男性も能力的に変わらないんだよっていうところを示していきたいです。」

須藤元気参議（立憲民主党）「政治家になるのが10代からの夢だったので、ようやくスタートラインに立ててとてもうれしい気持ち。」

ナレーター「スタートラインに立つ議員がいる一方、9年ぶりに国政に返り咲いたのが。」

鈴木宗男参議（日本維新の会）「娘も親子でこの国会の場に立つのが夢だったという思いがあるので、今日は親子で来られて本当に良かった。」

ナレーター「注目議員と言えば。」

立花孝志参議（N国）「国会議事堂前よりNHKをぶっ壊す。」

ナレーター「NHKから国民を守る党の立花代表です。テレビ中継もある予算委員会の所属が決まりました。」

立花代表「朝起きて安倍総理に質問をするときのイメージトレーニングというか、身振り手振りでやっていた。」

ナレーター「そして、ひときわ注目を浴びたのが、『れいわ新選組の木村議員が大きな拍手によって迎えられています。』れいわ新選組の木村英子議員です。」

木村英子参議（れいわ新選組）「制度の改正には時間のかかる。この大きな問題を改善していくために私たち、これからは国会の中で頑張って取り組んでいきたい。」

ナレーター「同じく新人の船後議員も初登院。障害者が仕事についても公費で介助サービスが受けられるように制度改正を求ていくと強調しています。」

レポーター「れいわ新選組の木村議員が本会議場の中に初めて入ります。」

ナレーター「本会議場には介助者の同行が認められました。議場に入った感想を求められた木村議員は、『天井がきれいだなと。あまり見たことがなかったので。』船後議員は殺到する報道陣について、『驚きでやる気が湧きました。』」

"「山東昭子君が議長に当選されました。」

ナレーター「本会議では新参院議長に自民党の山東昭子氏。副議長に立憲民主党の小川敏夫氏が選出されました。午後には天皇陛下が即位後、初めて開会式に臨まれました。」

今上陛下「国会が国権の最高機関としてその使命を十分に果たし、国民の信託に応えることを切に希望します。」

ナレーター「本格的な論戦が始まるのは秋に開かれる臨時国会です。主な争点は憲法改正や間もなく 10%に上がる消費税について。今日安倍総理は。」

安倍総理「憲法改正等、困難な課題について共に一体となって取り組んでいきたい。」

ナレーター「改めて憲法改正に意欲を示しましたが、その憲法改正をカードに自信の政策を実現しようともくろむのが N 国です。」

立花代表「憲法改正を切り札に自民党にスクランブル放送の実現を迫るのは非常に速い方法だと。」

ナレーター「参議院では改憲勢力があと 4 議席あれば、発議に必要な三分の二になります。立花代表は改憲に協力するカードをちらつかせて、自民党の協力を得たい考えです。」

ナレーター「一方の消費税。消費税廃止などを訴えて二議席を獲得したれいわは他の野党との連携を模索しています。」

山本太郎代表「いつまでも廃止だけを叫ぶ万年野党になるつもりはないので、将来的には廃止だが、まず一步。5%で手を組めるのなら。政権交代に向けて精いっぱい汗をかいていきたい。」

ナレーター「新たな顔ぶれで迎えた国会では実りある議論が深まるのでしょうか。」

小川「この国会は 5 日までですが、改めて安倍総理は憲法改正に取り組んでいくと強調しました。星さん、秋の臨時国会では憲法論議進んでいくと見ていいのでしょうか。」

星「そうですね。秋の臨時国会は 9 月の中旬くらいからでしょうけれども、憲法改正の舞台になるのは衆参の憲法審査会というところなんです。ここで自民党が従来通り憲法九条に自衛隊を書き込むんだという方針で行くんだとなると、野党側はそう簡単には乗ってこれないと思います。それから、参議院選挙でいわゆる改憲勢力が三分の二を割り込みましたので、そのことがジワリと効いてくるんじゃないかなと私は見えていますね。」

小川「それから、こういった形で憲法論議を進めていくのかということからからんでいくのかどうか。秋の臨時国会の前には内閣改造ですとか党役員の人事がありませんね。」

星「9 月上旬に人事があるんですが、一つのポイントは二階幹事長をどうするかですね。二階さんはどちらかと

「例えば野党との話し合いを重視している穏健路線なので、二階さんが続投ならば穏健路線。交代することがあれば、もしかしたら憲法問題などでは強硬路線で来るのではないかとというのが野党が警戒しているところですね。」

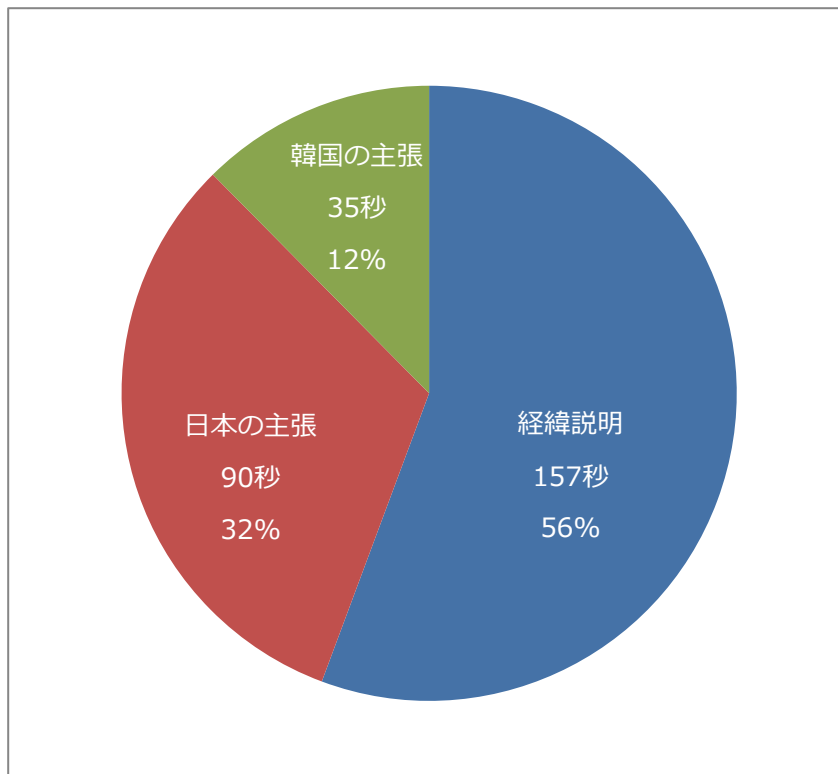
小川「二階さんの処遇で今後の進め方が見えてくると。」

時間配分としてはれいわ新選組が頭一つ飛びぬけている感がある。しかし、今回は参院選の結果を踏まえということで、とりわけN国党とれいわ新選組にとりわけスポットを当てる形での報道であったという点を考えるとそこまで極端な時間配分とは考えられなかった。

しかし、スタジオ解説の中で取り上げられたのはVTRの中でも憲法改正の議論についてのみで、れいわ新選組が重要争点としている消費税に関しては全く触れられなかった。これは、VTRの議論という観点で見ると、放送法第四条第一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に違反していると言える。

- ・日本政府が韓国をホワイト国から除外→結論：放送法第四条の見地から問題あり。

今回は悪化する日韓関係について、日本政府が韓国を「ホワイト国」から除外する方針であることについて、韓国が対抗措置を検討していることが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は282秒で、経緯説明・日本の主張・韓国の主張に争点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続いては出口の見えない日韓関係です。」

山本「日本は明日、輸出管理で優遇するホワイト国から韓国を除外する閣議決定を行う方針です。韓国側のさら

なる反発は必至で、溝はさらに深まりかねません。」

ナレーター「去年の平昌オリンピックで初めてメダルを獲得し、社会現象にもなったカーリング。札幌市できょう、藤沢五月選手も参加する国際大会が開かれました。しかし、開幕直前、大会事務局からこんな発表が。『出場予定であった韓国女子チームがチーム事情により急遽欠場となります。』韓国の女子 2 チームが突然出場を辞退したのです。韓国チームは大会事務局にチーム事情のほかに選手が体調不良だと説明。しかし、韓国紙の取材には関係者が別の理由を話したようです。『韓日関係がよくない状況で参加しない方が良くないと判断し、大会に参加しないことを決めた。』代わりに出場することになったチーム・ロコ・ステラを率いる本橋麻里さんは。」

本橋麻里氏「スポーツはどんなことがあってもスポーツ単体でなくてはならない。それで苦しんでいるのは現場の選手なので、その部分はすごく共感します。選手たちは仲がいいので大丈夫です。」

ナレーター「スポーツにも影響を与え始めた日韓の溝。タイのバンコクで注目の動きがありました。韓国への輸出管理を強化して以来、初めての日韓外相会談です。厳しい表情を崩さない二人。会談で河野外務大臣は徴用工訴訟を巡る国際法違反の状態の速やかな是正を要求。一方韓国側は日本側のある動きに神経をとがらせていました。日本政府は優遇措置を与えているホワイト国、27 か国から韓国を除外することを明日閣議決定する方針です。第一弾の措置で優遇措置を止めたのは 3 品目でしたが、第二弾では食料や木材などを除く多くの品目の輸出について個別の許可を求める可能性が出てきます。」

ナレーター「河野外務大臣は安全保障上の適切な運用の見直しだと説明しましたが。」

カン・ギョンファ外相「明日の閣議決定が出たら我々も必要な対応措置を講じるしかない。」

ナレーター「対抗措置に言及した韓国側。日韓が軍事機密を共有するための協定、GSOMIA を破棄する可能性も示唆しました。」

カン外相「日本が輸出規制措置は安全保障上の問題だと主張するならば、我々も日本との安全保障の枠組みなどについて検討するほかない。」

ナレーター「韓国メディアは二人のこんな写真を掲載。隔たりは全く埋まらなかったと報じました。注目されるのは明日午後予定される日米間の外相会談です。今夜、ポンペオ国務長官は。」

ポンペオ国務長官「日韓両国が共に緊張緩和のための道を見いだせることを願っている。」

ナレーター「アメリカの仲介で関係改善への糸口を見つけられるのでしょうか。」

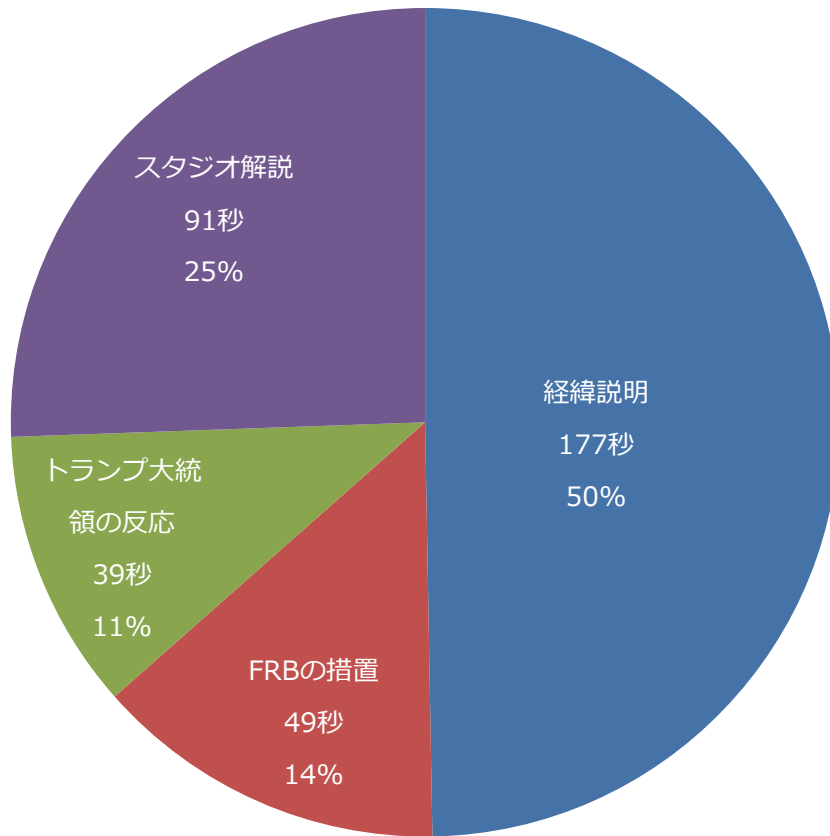
小川「明日が一つの山場と言えそうです。」

時間配分を見ると、韓国の主張に対して日本の主張が 2 倍以上の時間を割かれていることが分かる。日本の報道番組ということを考えても 2 倍以上差をつけて報道することは公平性に欠く報道の仕方であると言える。

今回は放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に反した内容であると言える。

・米 10 年半ぶりの利下げ→結論：放送法第四条の見地から問題あり。

今回は FRB が 10 年半ぶりに利下げを実行することと、その背景にトランプ大統領の圧力があることが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 356 秒で、経緯説明・FRB の措置・トランプ大統領の反応・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それ俺の時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続いては 10 年半ぶりの利下げです。アメリカの中央銀行に当たる **FRB**、連邦準備制度理事会が政策金利の引き下げを決めました。背景にはこの人の再三にわたる要求があったようです。」

パウエル議長「本日、政策金利の誘導目標を **0.25%**引き下げることを決めました。」

ナレーター「およそ 10 年半ぶりの利下げに踏み切った **FRB**。その理由についてパウエル議長は米中貿易摩擦などを背景とした景気の減速を未然に防ぐための「予防的な措置」だと強調しました。利下げをするとお金が回りやすくなることから、通常景気が良くないときにとられる措置です。前回利下げが行われた 10 年半前と言えば。リーマンショックを発端とした金融危機の後、ゼロ金利政策に踏み切ったのが 2008 年 12 月。その後景気拡大に伴って、2015 年末から利上げが進められてきました。景気は過去最長の拡大を続け、失業率も歴史的な低水準となる中での今回の利下げ。背景にはこの人の異例の発言がありました。」

"トランプ大統領「**FRB** は間違いを犯している。引き締めすぎだ。**FRB** は狂ってしまった。」

ナレーター「去年 10 月、**FRB** の金融政策を批判したトランプ大統領。その翌日にも。」

トランプ大統領「**FRB** は制御不能だ。彼らがやっていることは間違っている。」"

ナレーター「次の大統領選を見据え、経済成長や株高につながる利下げを繰り返し要求。政治からの独立性を要求される中央銀行ですが、今回はトランプ氏や利下げを確実視していた市場の圧力に事実上押し切られた形です。」

パウエル議長「我々は政治的な配慮を考慮に入れることは決してない。(長期的な利下げサイクルの始まり?) それは今の我々の見解ではない。」

ナレーター「パウエル議長は政治の影響を否定。利下げ幅を 0.25%に留め、さらなる利下げには慎重な姿勢を示しました。この発言を受け、ダウ平均株価は一時 470 ドル以上値下がり。トランプ氏はすぐさま不満をぶちまけました。」

トランプ大統領「市場が FRB に求めているのは今回が長期的な利下げサイクルの始まりだというメッセージだ。いつも通り、パウエルは我々を失望させた。」

ナレーター「こうした現状に専門家は危機感を示します。」

ラックマン氏「FRB としてはトランプ大統領が言ったように動けば『独立していない』と思われてしまう。だからトランプ氏の発言は FRB がより積極的な利下げに踏み切るのを妨げていて、アメリカに大きな損害を与えているのです。」

ナレーター「一方、東京市場では円相場が一ドル 109 円台に下落。平均株価は一進一退の展開となりました。今回の利下げについて日本の専門家は。」

上野泰也氏 (みずほ証券チーフマーケットエコノミスト)「実は世界経済、もはや順風満帆とは言えない。この先スローダウンする。成長率が落ちていくということをシンボリックに示す動きではないか。海外発の悪い流れに対して日本国内の消費や設備投資がどこまで持ちこたえるか。これがこの先の日本の景気のポイントだと思います。」

小川「利下げによって株価を押し上げたかったトランプ大統領の思惑とは裏腹に株価は下がったと。これに対してトランプ大統領は当然不満げですし、大統領選を見据えてさらなる利下げを要求してくることが考えられますけれども。」

星「トランプさんが 0.5%下げしてほしいというところを 0.25%に留めたというところが FRB のささやかな抵抗というところでしょうか。おそらくトランプさんはこれからも執拗に利下げしろと言ってくると思います。今回予防的利下げをしたということなので、もしもう一回景気後退局面に入ってくると FRB としてももう一回利下げをせざるを得ないということになってくるんですよね。」

小川「予防的といいますと VTR の中でも専門家の方が『世界経済は順風満帆とは言えないと。海外発の悪い流れに日本が持ちこたえられるか』とおっしゃっていましたが、さらなる利下げがあるとすると、日本への影響というのはどうでしょうか。」

星「今回は利下げになっても円高にならなかったり、株もそれほど落ちなかったりということで、日本は一息ついたということなんですけれども、これからアメリカが仮に利下げを続けてくると、日本としては日本は今マイナス金利なので、打つ手がないんですよね。そういう意味では日本にとっても非常に苦しい局面が予想されていて、トランプさんのアメリカファーストということで、貿易、安全保障金融の面でも日本に影響を及ぼしてきているということだと思いますね。」

今トピックの時間配分を見ると公平な内容と言える。その点では評価できる報道であると言える。

NEWS23 週刊報告 詳細版

しかし、スタジオ解説の星キャスターの発言の中で、「今回は利下げになっても円高にならなかったり、株もそれほど落ちなかったりということで、日本は一息ついたということなんですけれども、これからアメリカが仮に利下げを続けてくると、日本としては日本は今マイナス金利なので、打つ手がないんですよ。」という発言があるが、これは事実ではない部分がある。確かに日本は金融部門においてマイナス金利を採用しているため、利下げという手段の面では対応策がないが、景気に対する影響という面では方策が残されている。その意味では星キャスターの発言は極めて限定的な意味での発言であり、視聴者に誤解を与えるものと言える。

今トピックは放送法第四条第一項三号「報道は事実を曲げないですること」に違反している。

- ・北朝鮮が新型ロケット砲の写真公開→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は北朝鮮の朝鮮中央テレビが新型ロケットと思われる物体の写真を公開したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 25 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・F35A が飛行再開→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は自衛隊の最新鋭ステルス戦闘機 F35A の飛行が再開されたことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 21 秒で経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月2日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：日韓貿易管理問題、米中貿易摩擦		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国に対して「ホワイト国」から除外の閣議決定 ・トランプ大統領が中国に対して新たな追加関税の導入を表明 ・京アニ事件、犠牲者の実名が公表 ・全国で厳しい暑さ、236 地点で猛暑日 ・中国人民解放軍、香港のデモ鎮圧の動画を公開 ・ロシア首相、北方領土を訪問 ・令和初、死刑囚 2 名の刑執行 ・スポーツ報道 ・米露間の核軍縮条約が本日失効 ・200 万円詐欺の受け子が逮捕 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓貿易管理問題：結論→特に問題なし <p>今回の報道は、本日韓国を貿易管理上のいわゆる「ホワイト国」から除外する閣議決定が行われたこと、およびそれに対する各所の反応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 717 秒だった。</p> <p>なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り返された。</p> <p>小川キャスター「東アジア情勢、今日は激動の一日となりましたが、山本さん」</p> <p>山本キャスター「はいそうですね。お伝えしてきたように様々な動きがありましたので、こちらで整理をしていきます。まずはこちらの日韓関係ですが、ホワイト国除外でいったん節目を迎えたかと言ってもいいかもしれません。そんな中で未明に北朝鮮がミサイルを発射しました。一週間で 3 回目ということでまたかと感じた方も多いと思うのですが、これに対して米トランプ大統領は問題ないと静観しているんですね。そのトランプ大統領ですが、中国に対して第 4 弾となる経済制裁を発表しました。このように様々な国が入り乱れている中で、こちらのバンコクでは日米韓 3 か国の外相会談が行われたわけです。」</p> <p>小川キャスター「今日、新たな関係に入った日韓関係で、星さんどの国が影響を受けて、どの国が得をするのでしょうか。」</p> <p>星キャスター「まずは北朝鮮を考えてみますと、3 回ミサイルを撃っていますが、アメリカは問題なしで、本来脅威を感じるべき韓国と日本が対立してますから一致した行動を取れないということで、日米韓の足並みの乱れに北朝鮮はほくそ笑んでいるということでしょうね。」</p> <p>小川キャスター「北朝鮮は得ということですね。」</p>		

星キャスター「実はこの動きに対して、得をしているように見えるのはロシアでして、ロシアはこの間蚊帳の外だったわけですが、主導権を取るべく竹島で領海侵犯をしたり色々な動きをしているという状況です。」

小川キャスター「東アジアで存在感を高めたいというロシアが漁夫の利を得るというこの状況。そして中国やアメリカは」

星キャスター「そうなんです。中国はこれで韓国を自分のところに引き付けるいいチャンスだと思っているのです。しかし日韓関係が悪くなり、東アジアの景気が悪くなると中国の景気にも影響するので、痛し痒しという状況があります。一方アメリカは、最大の懸案は中国との対決ですので、日米韓で中国に向き合いたいのですが、日韓のこの関係では困るぞということで、アメリカが一番心配しているわけですが、なかなかうまく進まないというのが現状ですね。このように世界的に日韓の問題が波及して、日韓としてもこれ以上エスカレートさせるのはよくないのです。まずは韓国に頭を冷やしてもらい、いずれ日韓の首脳同士が政治決断で問題の打開を図ることが必要になりますね」

・米中貿易摩擦：結論→特に問題なし

今回の報道は、米トランプ大統領が中国に対する追加関税の導入を示唆したことで、貿易問題をめぐる両国間の対立が深刻化していることについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 138 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・日韓貿易管理問題

韓国に対する「ホワイト国」除外の報道について、今回の措置に至った背景の解説、およびその措置が適切なものであるか否かの検討が全くなされておらず、官邸・経済産業省側の見解を無批判に垂れ流しているような印象を受けた。